



# 岡山大学工学部 同窓会報 第29号

2017年 8月 1日

編集・発行 / 岡山大学工学部同窓会事務局  
〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1 岡山大学新技術研究センター内 TEL・FAX (086)255-8311  
メールアドレス ofst@cc.okayama-u.ac.jp  
ホームページ(URL) <http://www.eng-okayama-u.ac.jp/alumni/index.html>  
印刷所 / 小野高速印刷㈱ 〒670-0933 姫路市平野町62 ☎ 079(281)8837

## TOPICS

挨拶 (工学部長、代表幹事、退職者) 1～	
学科の最近の話題	4～
スーパーグローバル ホームカミングデイ	7～
職場紹介、各支部報告	9～
新任・昇任・退職等教員紹介	17
寄附者一覧	18
会計報告	19
同窓会事務局より	20

## 岡山大学および工学部の現状 (2017)

工学部長 富田 栄二



平成29年度から岡山大学は横野博史学長に交代し、理事や副学長等も交代して、「実りの学都」を目指すことになりました。

以下、工学部における最近の活動状況および平成29

年度の目標等をご紹介します。

平成28年度から4学期制が始まりました。以前の90分授業が、120分(60分x2)で同じ単位数になりました。授業時間数は増加しますが、内容は基本的に増やさずに、演習を増やして理解度を増すようにするとか、今までよりもゆっくりと進むことができるようになりました。今まで一方的であった授業を、学生自らも手や頭を使うことになるので、教育効果が増し、実効的な学びを実践することができるかと期待されています。

今まで岡山大学は、留学生の受入や日本人学生の海外派遣に対してあまり力を入れてこなかったとされています。工学部(工学系)としては、平成28年度は、これらの国際交流にかなり力を入れました。ミャンマーの工学系2大学から先生を博士後期課程の学生として継続して受け入れています。また、このような正規留学生や研究生以外に、平成28年度からは短期留学生の受入制度も整いました。例えば、機械系と化学系ではそれぞれ同済大学から20～30名ずつ、浙江工業大学から約30名、さくらサイエンス事業で、各国からそれぞれ10数名ずつ2件、インドから15名ほど、1週間程度の短期で受け入れました。また、インターンシップ生として、グルノーブル大学、長庚大学、

昌原大学などから2～6か月間、2～6名を受け入れました。派遣に関しては、1週間ほど、2および3年生を30名、タイへ連れて行き、日系企業の現場見学と交流、およびチェラロンコン大学の学生と交流しました。これはまず海外を経験してもらおうというエントリーレベルの取り組みでしたが、参加した学生には非常に好評でした。平成29年度は、さらに、台湾の企業・大学への短期派遣も考えています。このように、学生および教員の交流がかなり活発になってきています。その他にも個々の先生のレベルでも多くの実績があります。

大学の予算は年々厳しさを増しております。大学から与えられる研究のための予算はほとんどない状態ですので、教員として研究室を維持していくためには、外部資金の確保が必要不可欠な状況です。

当然ですが、工学部の卒業生は年々増えていきます。工学部同窓会と工学部がお互いの距離をもっと短くするようにしたいものです。すなわち、工学部同窓会が、岡山大学工学部の教育、研究、社会貢献にも、もっと深く、積極的に関与することができるような仕組みと一緒に構築していきたいと考えております。その取り組みの一つとして、経済学部との合同授業である「実践コミュニケーション論」において、平成27年度から工学部同窓会から2名の方に非常勤講師として参画していただいております。また、国際交流にも参画していただこうとしております。同窓会と工学部の結びつきが、いろいろな場面で、ますます強くなることを願っております。

## 工学部同窓会からのご挨拶

工学部同窓会代表幹事 酒井 貴志 (1970年卒)



新入生の皆様、同時に、工学部同窓会新会員の皆様、大学生活も軌道に乗つつある頃と思います。初心を忘れず、この恵まれた岡山大学でぜひとも良いもの

を得ていただきたいと思います。何度も聞かれていますと思いますが、大学では、自ら行動を起こさない限り、何も起こりません。

さて、工学部が昭和35年(1960年)4月1日に機械工学科と工業化学科の2学科(定員各40名)で設立されて以来、学科増、定員増、何度かの学科改組を経て現在の姿となり、学部卒業生だけで

20,000人を超えています。一期生は古希から喜寿への途上にあり、続く同窓会会員は、多種多様な場所での仕事や人生を経験した(している)OB、在学生を含めた幅広い年代からなる組織となっています。工学部同窓会は、それらの多様な会員の要望に応えられる会へと発展していきたいと願っています。

工学部同窓会は、現在、関東支部、関西支部、岡山支部の3支部がありますが、それらの活動については各支部報告欄をご覧ください。支部活動が活発に行われ、さらに、新しい支部が生まれることを支援していきたいと思っています。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご活躍を心からお祈りしています。

## 工学部同窓会の活動

- ① **会員名簿の整備**：工学部同窓会は、在学生、卒業生、現旧教員が正会員です。現在は、冊子体での名簿発行は行わず、電子媒体での情報管理を小野高速印刷(株)に委託しています。また、定期的に名簿調査を行っています。同窓会活動のために名簿情報の必要な方は、工学部同窓会事務局にご相談ください。
- ② **「岡山大学工学部同窓会報」の発行**：毎年、8月初旬に学内外の同窓会情報を会報として発信しています。会報が、会員相互の情報交換、世代を超えた人的な交流の要になることを願っています。会員からの寄稿も歓迎しています。
- ③ **「岡山大学スーパーグローバルホームカミングデイ」(毎年10月)における工学部同窓会総会、報告会、懇親会の開催**：大学全体で様々な企画があります。会報を参照下さい。
- ④ **各学科同窓会による、学生の就職支援、OBによる企業紹介、講演会などの開催、及び学科の教育活動支援**：在学生とOB相互に役立つ情報交流の場を設定しています。
- ⑤ **支部活動支援**：関東支部、関西支部、岡山支部の活動を支援しています。
- ⑥ **岡山大学 Alumni (全学同窓会) との協力**
- ⑦ **会費のお願い**：主として入学時またはその後の会費と、会員からの寄付金が活動の原資です。会費は、岡山大学 Alumni (全学同窓会) 会費 10,000円と工学部同窓会会費 10,000円の合計 20,000円を入学時にお願ひしています。また、卒業生、教職員の皆様からは多額のご寄付をお寄せいただいております(寄付者一覧、会計報告参照)、ご支援に厚くお礼申し上げます。入学時に納入できなかった方には、後日、納入の依頼を送らせていただいております。
- ⑧ **同窓会活動は、代表幹事と各学科から選出された学内幹事・学外幹事による幹事会により運営されています。詳細は、学内幹事または事務局にお尋ねください。**

# 退職にあたって

## 退職にあたって -人生の節目と岐路-

電気通信系学科 杉山 裕二



私の人生の最初の節目は大学入試の願書を出すときだったように思います。それまでは、なんとなく工学系の学部、なんとなく電気系の学科を志望していました。大阪大学の募集要項を見て基礎

工学部に情報工学科新設の予定があることを知ったとき、「情報工学科」の何たるかをよく知らないままその新しさに惹かれて、直ちに情報工学科を志望することに決めました。全国初の「情報工学科」だったことは入学してから知りました。昭和45年、大阪万博が開催された年のことです。

当時の大学では学生運動が盛んで、授業はまともに受けられませんでした。「ストライキ」と称する授業妨害によって長期休講が何度かあり、その期間はもっぱらサークル活動に没頭しました。サークル名は大阪大学奇術研究会 (Osaka Univ. Magicians Club)、略して OUMC、どこかで見たことのある略称と同じです。入学後たまたま近くに居合わせて知り合った友人に誘われて入ったサークルですが、そのおかげで、勉強はしなかったけれど大学へは毎日通い、下宿などで怠惰に過ごすようなことをせずにすみしました。

二番目の節目は、研究室選びでしょうか。同級生の風評はさほど良くなかった研究室ですが、研究テーマが気に入ってその研究室を選びました。故嵩忠雄先生の研究室です。先生との出会い、先生への師事、これが私の研究の方向性を決め、その後の岡山大学着任へと繋がりました。嵩研では、計算機構の理論モデルの一つであるオートマトンの解析、オペレーティングシステムに必要な各種機能の理論的解析と効率的アルゴリズム考案、仕様や処理手順記述のための代数的言語とその実行系開発に関する研究を行いました。

生まれて間もない「情報工学」分野では教員需

要が高く、所属研究室の教員は頻繁に他大学に異動していました。大学院博士後期課程の1年が終わるとき研究室助手のポストが空き、私にその後任の話が来ました。普通なら人生の大きな節目ということになるのかもしれませんが、同じ研究室で同じ研究を行い、同じ学生の指導を続けたため、そのような意識はなく、スムーズに大学教員の立場に移行できました。その後、同じ学科の中で研究室を移りましたが、移った先の教授が嵩先生の門下生で、同族の中にいるようなものでした。

1980年代に全国的な情報関連学科設立ブームがやってきました。本学の情報工学科もその一つですが、後発組だったため情報系教員が不足していました。学科設立メンバーを探していた岡本先生が親交のある嵩先生に話をもっていき、私に白羽の矢が立ちました。その結果、学年進行でポストの手当が付いた昭和64年1月情報工学科の教授として岡山大学に着任しました。私にとって三番目で、結果的に最大の節目となりました。

本学の情報工学科では、電子情報工学講座に所属し、同じ講座の岡本先生と、名目上も実質上も、一体運営をしました。教授の何たるかもろくに知らず、研究室運営の経験も無い若輩者の私にとっては非常に助かりました。その後、平成12年新設の通信ネットワーク工学科への参画、平成23年の電気電子工学科との合併による電気通信系学科への移籍など、10年程度の間隔で節目と呼べるようなものがありました。

以上、私の人生を振り返って見ますと数多くの節目がありました。しかし、人生の岐路と呼べるような選択は、大学入試の学科選択と大学4年での研究室選択だったように思います。その他の節目は、流れに乗ってきただけと感じています。

私の教育研究人生で、最も長く、最も大きく関わったのは岡山大学工学部に在籍していた期間です。職務を全うできたのは、周りの皆様のご指導とご鞭撻のおかげと感謝に堪えません。最後に、岡山大学の今後の益々の発展を祈念して筆を置くことにします。長い間ありがとうございました。



## 学科の最近の話題

### 機械システム系学科 システム工学コースの近況

機械システム系学科・学科長  
平田 健太郎

卒業生、修了生の皆様、ならびに旧教職員の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。本稿の執筆にあたり、改めて同窓会というものについて考えてみる機会を得ました。近年、国立大学は改革の渦中にあり、運営費交付金の段階的削減にあえいでいます。それゆえ、財政的支援への期待もあつてか、各大学とも同窓会組織を強化しようとする動きが盛んです。しかし、そのような即物的な観点から離れて原則論に立ち返れば、大学が卒業生から見ていかに魅力的であるか、自分がかつてその一部であったことをどれだけ誇りに思うことができるか、が同窓会を成り立たしめる本質でしょう。我々が母校に対して愛着を抱くとき、真っ先に想起されるのはその場所が持つ独特の雰囲気であり、場所の持つ個性とでもいふべきものです。その点、現在、各大学が掲げている教育・研究、国際化の推進等の目標は総じて没个性的であり、これらのもとでは愛着ある大学像をイメージすることは困難です。

以前に訪問した折、イギリスのケンブリッジ大学では今でも教員がティータイムに集まって談笑していることを知り、伝統の重みに感銘を覚えました。本学に赴任後、その話を他の先生にしたところ、実はかつての当学科でも同様の習慣があったと聞き、とても驚きました。古き良き時代といってしまうえばそれまでですが、かつてはここが地方にありながら非常に進歩的な知の拠点であったことを物語るエピソードだと思います。果たして我々はそのような知の継承を全うしているのでしょうか。「場所の個性」を育み、それをいかに保ち続けられるか、それが同窓生に愛される組織であるための鍵です。現員一同、その実現に努力してまいります。同窓会の皆様におかれましては、今後ともご支援、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、2015年4月以降の当コー

スの人事異動は以下の通りです。

【転出】 矢納 陽 助教 (2016年3月、現在、川崎医療短期大学准教授)

【退職】 山崎 謙治 教授 (2016年5月)

【着任】 中村 幸紀 講師 (2015年12月)、崎山 朋子 助教 (2016年4月)、土井 俊央 助教 (2016年10月)、岡野 訓尚 助教 (2016年10月)

【昇任】 神田 岳文 教授 (2017年4月)、松野 隆幸 准教授 (2017年4月)

### 成長分野を支える情報技術人材の 育成拠点の形成 (enPiT)

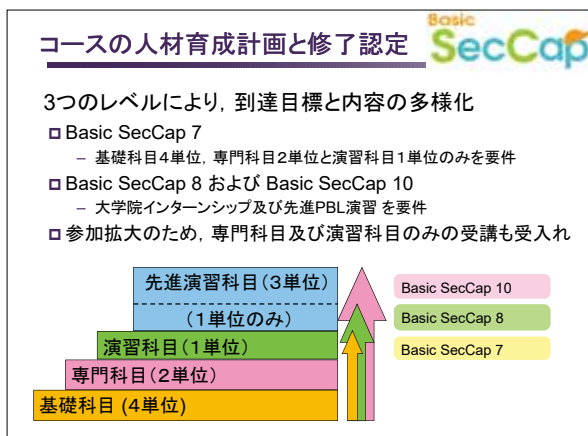
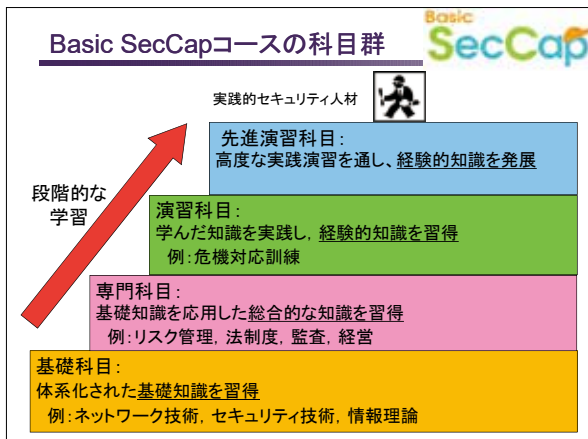
電気通信系学科・学科長  
横平 徳美

「成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成 (enPiT: エンピット)」は、高度IT人材の育成を目指す教育プログラムです。「セキュリティ分野」「ビッグデータ・AI分野」「組み込みシステム分野」「ビジネスシステムデザイン分野」という4つの分野を対象に、大学・産業界の協力体制のもとで推進されるリアリティの高い講義や演習など、特色あるプログラムを通じて実社会においてイノベーションを起こすことができる人材を輩出します。

セキュリティ分野では、岡山大学を含む11の大学が共同提案した「情報セキュリティ分野の実践的人材育成コースの開発・実施」という取組(略称: enPiT-Security)が採択され、これらの大学が連携して運営するBasicSecCapコースを立ち上げています。これは喫緊の課題であるサイバーセキュリティ分野の人材育成を目標として、先進技術の知識に加え、理解・応用できる実践的能力の開発も含む人材育成を達成する教育を実施することを指向して、大学間連携による教育内容のダイバーシティと、産業界、あるいはセキュリティ関連団体との連携による実践的人材育成の教育コースを開発し実施する取り組みです。

高度化する情報セキュリティの脅威を理解し、リスクマネジメントに必要な知識、基本的技術、実践力を備えた人材を育成します。

今後、岡山大学工学部の電気通信系学科と情報系学科の学生を対象に、他大学や企業と協力して、セキュリティに関する実践的な講義・演習を提供する予定です。詳細は、<https://www.seccap.jp/basic/> を参照願います。



## 情報系学科の近況

### 情報系学科・学科長 名古屋 彰

同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。学科を代表し、近況についてご報告いたします。

まず、学部教育につきましては、平成28年度より本学で導入されました「60分・4学期制」が定着し、その効果が現れ始めております。従来の

90分の授業が、10分の休憩を挟んで60分×2の授業へと変わったため、授業によっては、その増えた時間を演習問題の実施や質疑応答に充てるなどすることで、学生の成績向上に結び付けております。また、「60分・4学期制」の導入に合わせ、カリキュラム標準J07-CSに基づきながら、本学科のカリキュラム構成を見直し、各授業科目の再編や履修時期の変更などを実施いたしました。特に1年生の1、2学期では、受講者が指定された研究室を訪問し、そこで与えられた課題に対しグループワークで取り組み発表するというアクティブラーニング型の授業であるコンピュータ科学基礎1、2を新設しました。平成28年度の新入生からこの授業を受講することにより、入学直後から専門分野に対する勉学のモチベーションが高まっているほか、同期の学生間のコミュニケーションも活発化するという効果が現れています。

また、平成28年度は、大学院生向けに、第1期enPiT（分野・地域を越えた実践的情報教育協働ネットワーク）のSecCap（実践セキュリティ人材育成コース）に参加し、他大学にて開講される情報セキュリティPBL（Project Based Learning）演習の受講が可能となりました。平成29年度からは、学部教育を対象とする第2期enPiT（成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成）のセキュリティ分野（Basic SecCap）の連携大学として、本事業の教育の一部を本学科で分担するほか、学生の受講が可能となっており、3、4年生で多数の受講希望者が現れております。一方、大学院生向けの第1期enPiTは平成28年度で終了しましたが、SecCapプログラムに関して自主的継続の協定をNAISTと締結し、平成29年度も演習科目の受講が可能になっています。

学生の就職に関しましては、今年度も昨年度と同様の高い水準での求人があり、多くの学生が希望する企業への就職を決めている印象です。

情報系学科の教員構成といたしましては、教授7名、准教授3名、講師3名、助教6名、助手1名に加え、平成29年4月よりウーマンテニョアトラック教員としてZeynep Yücel助教が着任しております。

今年も10月21日(土)に、スーパーグローバルホームカミングデイのイベントが予定されていますので、皆様にはぜひお立ち寄りいただけたらと思います。末筆ではございますが、同窓会員の皆様方のご健康とますますのご発展を学科教職員一同お祈り申し上げます。

## 化学生命系学科(旧物質応用化学科・旧生物機能工学科)の近況報告

化学生命系学科・学科長  
大槻 高史

同窓生の皆様、ならびに旧教職員の皆様におかれましては、ますますのご健勝のこととお慶び申し上げます。当学科の状況について報告致します。

前回の近況報告以後の人事異動につきましては、平成28年9月に三野泰志助教(粒子・流体プロセス工学)、平成28年10月に中曽浩一准教授(粒子・流体プロセス工学)、平成29年4月に仁科勇太准教授(機能分子工学)が新しく着任されました。また、平成29年3月に工藤孝幸助教(生物有機化学)が特許庁に転出されました。そして、菅誠治教授が平成29年4月から本学の理事(財務・施設担当)・副学長に着任されました(工学部は兼務)。

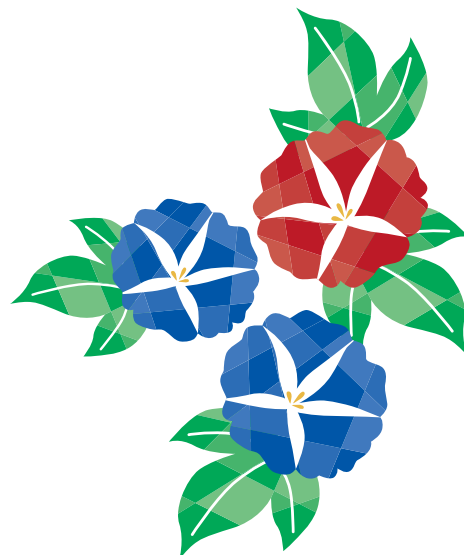
また、今年度(平成29年度)は教員の留学が多く、平成28年4月から2年間の予定でシンガポール国立大学へ留学されている小西敏功助教(無機バイオ材料工学)に加え、3人の短期留学が予定されています。狩野旬准教授(無機材料工学)が平成29年5月からパリ郊外にあるCentraleSupélecに、石田尚之准教授(バイオプロセス工学)が平成29年6月からオーストラリア国立大学に、小野努教授(界面プロセス工学)が平成29年8月からフランス・ストラスブール大学に留学します。

平成30年から本学では医療統合科学研究科の設置が予定されており、当学科の生命工学コースの教員が中心メンバーとなっています。現在、医療統合科学研究科設置担当の副学長で当学科教員でもある妹尾昌治教授を中心に急ピッチで準備が進められています。このことは岡山大学を取り巻

く状況が変化していることの1つの象徴かと思えます。

化学生命系学科は、旧学科(物質応用化学科と生物機能工学科)の2体系のカリキュラムを融合して1体系にまとめるカリキュラムへの移行を平成23年4月から平成27年3月までの4年間かけて完了しました。その思想は、化学と生物の広い知識をもち、化学生命系研究全般に対応できるような視野をもつ学生を育てようというものです。この平成29年3月に新学科になってから初の博士前期課程(修士)修了者が社会に飛び立ちました。このタイミングにも関係しまして、学科の同窓会組織として、平成28年10月に新たに化学生命系学科同窓会が設立されました。この4月に同窓会設立記念講演会が開催され、社会でご活躍中の同窓生から在学生に向けて体験談とともにエールが送られました。

10月21日にはスーパーグローバルホームカミングデイも予定されていますので、同窓生や旧教職員の皆様にはぜひお立ち寄りいただきたく存じます。同窓会員の皆様には、引き続きご支援のほどお願い申し上げますとともに、ますますのご発展を学科教職員一同お祈り申し上げます。





## 岡山大学スーパーグローバルホームカミングデイ

### 2017年度 工学部同窓会報告会・懇親会のご案内

岡山大学工学部同窓会では、昨年につき、本年10月21日(土)に「工学部同窓会報告会」と「懇親会」を計画しています。当日は、「岡山大学スーパーグローバルホームカミングデイ」のいろいろな全学的な企画、工学部の研究室開放・OB講演会等も計画されています。

スーパーグローバルホームカミングデイとは「岡山大学の同窓生および教職員OBに、再び岡山大学に足を運んでいただき、大学の近況に触れ、恩師や同窓会、在学生、教職員との交流を深めていただくイベント」です。同窓生OBが主要なゲストです。懐かしい岡山大学の変貌をぜひご覧ください。詳細は工学部と工学部同窓会ホームページを参照ください。この機会に会員相互の懇親を深め、同窓会への一層のご理解を戴ければ幸いです。気楽にご参加下さい。

#### 工学部同窓会報告会

日 時：2017年10月21日(土)、15：30-16：30 (受付開始：15：00)

場 所：岡山大学工学部1号館1番教室(本館1階)

- 1) 工学部同窓会の活動と課題について(工学部同窓会代表幹事、他) 支部活動(関東、関西、岡山)についてもご報告いたします。
- 2) 工学部の最近の活動について(工学部副学部長)
- 3) 大学院自然科学研究科の現状について(大学院自然科学研究科副研究科長)
- 4) 意見交換

#### 工学部同窓会懇親会 (17：00-18：30; 受付開始 16：30)

同窓生と工学部現旧教員を交えた懇親の時をもち、いろいろな情報交換や旧交を温める機会としたいと思います。気軽に参加して下さい。

場 所：南福利施設(ピーチユニオン4階)

懇親会費：3,000円(含アルコール：工学部同窓会報告会受付にてお支払いください)

参加申し込み：10月13日(金)までに、後日お送りします「はがき」またはメール(同窓会事務局、ofst@okayama-u.ac.jp)にて、学科、卒業年、氏名等をご連絡下さい。



2016年度 工学部同窓会報告会 (2016,10,22)



懇親会 (ピーチユニオン)

# 2016年度 工学部学科同窓会活動報告

岡山大学ホームカミングデイでの報告 2016.10.22

## 機械システム系学科同窓会

### 機械システム系学科同窓会活動報告

#### 役員

- ・学外幹事 尾崎 公一(H2修), 和田 弥太郎(H12卒)
- ・報告者 岡本 康寛(H8卒, 学内幹事), 永井 伊作(H7卒, 学内幹事)

#### 活動概要

1. 両コース共同の新入生に対する入会案内
2. 現役学生への支援  
機械工学コース「機械系エンジニアの歩き方」の後継システム工学コース 学習環境、就活環境向上のための寄贈
3. 卒業生による同窓会開催への支援(2件/H27年度)

### 1. 「機械系エンジニアの歩き方」の後援

- ・機械系卒業生が多い、在学生への助産も含めて企業を紹介
- ・同窓会主催の懇親会を開催し、相互交流の機会アップ
- ・卒業生と在学生をつなぎ、両者の役に立てる企画

年度	企業数
平成19年度	100社
平成20年度	91社
平成21年度	88社
平成22年度	97社
平成23年度	101社
平成24年度	82社
平成25年度	100社
平成26年度	98社
平成27年度	100社

懇親会で企業の先生の激励を受ける在学生

和やかな雰囲気での交流会

※本年度の実施予定: 平成29年1月13日(金) 於: ビュアリナビまきひ

### 2. 学習環境、就活環境向上のための寄贈



- 現役学生のための寄贈活動
- 超短焦点型 液晶プロジェクターとスクリーンを2式寄贈(2013年12月)
  - 就職情報掲示のための掲示板(2015年7月)

## 電気通信系学科同窓会

### 電気通信系同窓会活動報告

#### 活動概要

1. 同窓会等開催補助
2. 学生の就職活動への支援

#### 1. 同窓会等開催補助

年度	件数
平成25年度	3件
平成26年度	3件
平成27年度	8件
平成28年度	6件

(予定を含む)



### 2. 学生の就職活動への支援

#### (1) キャリア形成のための意見交換会

就職活動本格化前に学内で開催

- ・電気通信系学科卒業生が来学し、在学生へアドバイス
- 会社の業務内容や研修について具体的な情報を聞いた
- 一部の説明会では即行し本音を聞いた
- 先輩たちの就活体験話を聞いて参考になった

年度	卒業生	参加者
2010	4名	61名
2011	4名	21名
2012	10名	23名
2013	8名	36名
2014	7名	34名
2015	8名	64名

2010～2015年度は12月開催、2016年度は岡山大学ホームカミングデイで開催

#### (2) 就活生と卒業生の懇親会

- ・ 日時: 2016年2月22日(月)
- ・ 場所: 大卒生協会室 ビーテユニオン
- ・ 電気通信系学科との共催
- ・ 参加した企業数: 27社 (2015年は28社)
- ・ 内容: 企業説明
  - ビュウノ形式の食事しながら学生が各社のテーブルを訪問
  - 幅広い企業について詳しく情報を得られた(学生)
  - 知らなかった企業についても詳しく情報を得られた(学生)
  - 一筋の企業説明会より熱心に説明を聞いてもらった(卒業生)



## 情報系学科同窓会

### 情報系学科同窓会活動報告

情報系学科助教 新妻 弘崇

#### 役員

- ・幹事(外) 池本 文典(内山工業(株), 平3卒)
- ・幹事(内) 新妻 弘崇

#### 活動概要

1. 情報系学科ホームカミングデイの活動報告
2. 情報系学科同窓会(情報工学会)の活動

### 1. 情報系学科ホームカミングデイの活動報告

- 研究室訪問: 教員と情報系学科OBとの交流の場
- 研究紹介イベント: ポスター形式で研究室の活動内容を紹介
- 「OB、現役生、教員の交流イベント」
- ・ 情報系学科長による学科紹介
- ・ 情報工学科OBによる講演会 笠原 真人、(株)日立製作所 2016年卒 森山 英樹、有明大学 2012年卒



昨年の情報系学科イベントの様子  
①講演会 笠原 真人、(株)日立製作所 2016年卒  
②講演会 森山 英樹、有明大学 2012年卒

### 2. 情報系学科同窓会(情報工学会)の活動

- 工学部同窓会ホームページ内のコンテンツの充実  
<http://www.eng.okayama-u.ac.jp/alumni/index.htm>
- 情報系学科のトピック
  - スーパーコンピュータ「施設見学ツアー」(2016年9月27日)
  - 情報系学科3年生の授業の一環で実施

## 化学生命系学科同窓会

### 化学生命系同窓会活動報告

H28年10月22日の「化学系学科同窓会(工化会)」と「生物機能工学科同窓会」の合同総会において、両同窓会が「化学生命系同窓会」として統合されました。役員は以下の通りです。

#### 役員

- ・共同代表(化学系) 楠本 清介(S56卒)(H24年度から)
- ・共同代表(生物系) 井口 勲(S46卒)(H28年度から)
- ・学内幹事(化学系) 内田 賢也(H4卒、H6修)
- ・学内幹事(生物系) 二見淳一郎(H6卒、H8修)

#### 活動概要

- 化学生命系同窓会としての活動
- 新しい世代に期待する化学生命セミナーの開催
- 卒業記念集合写真の撮影と配布

### 1. 卒業記念集合写真の撮影と配布(H21年度開始)

- ・ 卒業記念集合写真(学生と職員)の撮影と配布



平成27年度卒業生 平成28年度新卒生

・その他  
卒業生連絡先の集計と管理

### 2. 化学生命系学科同窓会設立記念講演会

(第一回新しい世代に期待する化学生命セミナー)

主催: 岡山大学工部化学系生命系学科同窓会  
 日時: 平成28年4月10日(月) 14:15-17:30  
 場所: 大学院自然科学研究棟2階 大講義室

プログラム

- 14:15-16:30 開会のあいさつ
- 16:30-17:30 「起業と経営」  
 講師: 岡山大学 経営学系 教授 長 岡野 隆夫(昭和56年3月卒)  
 加藤 孝典 氏(昭和56年3月卒)
- 17:30-18:20 下の生命分子に刺激を注ぎ込む創薬化学の世界  
 ～旭化成創薬分子ナレッジセンターの創設～  
 講師: 旭化成創薬分子ナレッジセンター 創設者 岡野 隆夫(昭和56年3月卒)  
 主催: 岡野 隆夫 氏(昭和56年3月卒)
- 18:30-19:00 「Authentic Leadership」  
 講師: 岡山大学 経営学系 教授 長 岡野 隆夫(昭和56年3月卒)  
 主催: 岡野 隆夫 氏(昭和56年3月卒)



# 職 場 紹 介

大王製紙株式会社

古川 勉

平成27年3月自然科学研究科 化学生命工学専攻修了



私は岡山大学大学院自然科学研究科を卒業後、2015年4月に大王製紙株式会社（以下、大王製紙）へ入社しました。大王製紙は1943年に設立した歴史ある会社で、紙・板紙

の製造加工・販売、パルプの製造・販売、植林事業だけでなく、日用雑貨（ティッシュ・トイレット（エリエール）、ヘルスケア（アテント）、フェミニンケア（elis）、ウェットティッシュ（キレキラ）、ベビーケア（GOO.N）の製造加工・販売等、事業分野は多岐にわたっています。私はH&PC（ホーム アンド パーソナルケア）事業部 グローバル商品開発本部 ベビーケアBMD 商品開発グループで子ども用紙おむつ（GOO.N）の開発に関する業務に携わっています。

業務内容概要は、主に下記4点です。

- 1) Plan：商品コンセプトを決定し、そのコンセプトにあった商品の性能や機能の考案
- 2) Do：マシンを用いてテストサンプルの試作
- 3) Check：サンプルの吸収性能評価、実際に生活者に使用してもらう実使用調査の実施
- 4) Action：性能および実使用調査結果を受けて、改善策の抽出

上記PDCAサイクルで品質改善を進める中で、マシンに精通した部署や資材メーカー等、様々な方と議論し開発を進める様、心掛けています。私の考える子ども用紙おむつの商品化のやりがいは下記2点です。

## 1) 商品の良し悪しの評価が困難

子ども用紙おむつの使用者自身はまだ話すことが出来ません。そのため、使用者自身の意見を得

るのは難しく、良し悪しの評価が非常に困難です。様々な視点で評価することが求められるため、経験の浅い社員の意見も重宝されています。また、子供の感情については、未解明なことが多い為、様々な研究機関と連携して、最先端の技術に携わることが出来ます。

## 2) 海外と関わることが出来る

近年、日本では人口減少と少子高齢化で子供の数が減少していますが、世界に目を向けると人口増加が見込まれており、海外拠点が増加しています。現在、中国、タイ、インドネシアに拠点があり、それぞれ現地の文化に合わせた商品の生産・販売を行っています。海外社員とのやり取りだけでなく、海外に出張し商品設計に携わることもあります。

これから就職活動をされる方々にメッセージですが、会社を選ぶ際に大学あるいは大学院で専攻していた分野に捉われ過ぎず、本当に関心のある仕事、会社を選択することをお勧めします。私は、最終消費者が近く、海外とも関わることが出来る仕事に関心があり大王製紙に入社しました。専攻分野とは異なりますが、上記の様に、やりがいを感じて仕事をしています。モノづくりは機械、電気、化学、生物等、あらゆる知見（技術）の集合体と言っても過言ではありません。一見、専攻分野でないようでも、必ず活躍できる場があります。自分が興味・関心がある事を大切にして就職活動に励んでください。大王製紙でお会いできるのを楽しみにしております。

最後に、高分子材料学研究室での経験が、現在の業務に生かされていると実感しています。内田先生、沖原先生、素晴らしい環境をつくって頂きありがとうございました。これからも研究室で学んだことを活かし、社会に貢献していきたいと考えています。

株式会社 村田製作所  
センサ事業部 企画・販推部

## 高橋 将貴

平成25年3月自然科学研究科 電子情報システム工学専攻修了



私は2007年4月に工学部 電気電子工学科に入学し、2011年4月に自然科学研究科 電子情報システム工学専攻へと進学しました。そして、就職

活動を通して最終製品の

性能を左右する電子部品の世界に惹かれ、2013年4月に村田製作所へ入社しました。

村田製作所は1944年に創業され、現代に至るまで最先端の技術、部品を創出してきた総合電子部品メーカーです。私たちが電子部品の姿を直接見る機会は少ないのですが、日々の暮らしに無くてはならないものとなっています。例えば、皆さんが所有しているスマートフォンには主力商品であるセラミックコンデンサが約700個、フィルタ(EMI除去、表面波など)が約100個も搭載されています。更には単体部品だけではなく、各種機能を小型集積化した通信モジュールも強みであり世界No.1のシェアを誇っています。このように、「村田製作所と言えば通信」というイメージがあるかもしれませんが、新市場への取り組み(自動車・エネルギー・ヘルスケア)も強化しています。Innovator in Electronicsをスローガンに掲げ、豊かな社会の実現を目指しています。

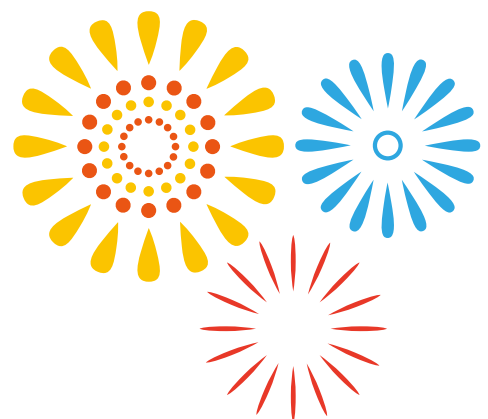
私は現在、車載向け超音波センサの販売推進を担当しています。入社後3年間超音波センサの開発を担当し、その後は販売推進課へと異動しました。自動車のバンパーに丸いセンサが取り付けられているのを見たことがある方もいるかと思いますが、どのように使用されているかご存知でしょうか? 超音波センサで障害物までの距離を検知し、衝突の危険がある場合にアラームでドライバーに知らせるといった機能を果たしています。それだけではなく、自動駐車や誤発進防止(ブレーキとアクセルを踏み間違えて事故に至るといった話を聞いたことがあると思います)などにも応用さ

れており、今後の自動車技術の発展に欠かせないセンサです。

現在所属している販売推進課では、お客様への技術的なサポートや製品の売り込みを行っています。担当のお客様に幅広い製品を売り込む営業課とは異なり、特定の製品に特化して営業課と開発課のつなぎ役となることが販売推進課の特徴です。業務をもう少し掘り下げると、

- ①お客様を訪問して要求事項を聞き込む。
- ②企画課と共に事業戦略を立案する。
- ③開発課へと落とし込み、必要なデータを取得する。
- ④再度お客様を訪問して説明し、次のアクションへと移る。
- ⑤これらを繰り返してお客様の開発をサポートし、将来のビジネスへと結びつける。

といった流れとなります。お客様との会話には技術的な知識が必要となります。私の場合、開発に所属していた経験を活かして自分でデータ取得を行い、自分で説明することでより良いサポートを行うように心がけています。また、村田製作所は海外売上比率が非常に高く、海外のお客様や営業メンバーをサポートする必要もあります。英語でのメールやり取りや打ち合わせ、資料作成など苦労することが多いのですが、海外で活躍できる人材となるべく日々業務に取り組んでいます。



## 工学部同窓会岡山支部活動報告

代表幹事 酒井 貴志 (S45年、合成化学科卒)

工学部同窓会岡山支部が設立され、3年が経過しました。岡山地区とその周辺のOBの方々を対象にご案内を送り活動してきましたが、学科を超えての友人を作り、親睦を深める良い機会となっています。支部活動の目的は、主として(1)親睦、(2)地域、企業、社会への貢献、(3)工学部の活動支援としていますが、それぞれの考えで、気楽に参加できる会にしていきたいと思っています。



① 岡山支部 総会 [2016.9.3]

① 岡山支部総会・OB講演会・懇親会の開催 (2016年9月3日)：支部活動報告後、電気工学科昭和43年卒の板谷康夫氏に、「特許 それは事業経営そのもの」との演題で講演をしていただきました。板谷氏は、この分野での長年の貢献が評価され、平成27年秋に旭日双光章を受賞されていました。(前号参照)



① 岡山支部 懇親会 (総会后) [2016.9.3]

② 秋の歴史探訪会 (2016年11月26日)：瀬戸内市「長船日本刀博物館」、「黒田官兵衛の故郷福岡」、岡山市東区「倉安川吉井水門」を見学し、岡山の歴史的な遺産を改めて認識しました。



② 秋の歴史探訪会 備前長船刀剣博物館 [2016.11.26]

③ 春の親睦会 特別企画「古代吉備王国の古墳めぐり」(2017年4月26日)：古代史に詳しい小林東夫氏 (S46化合・48修士) のご案内で、総社市「盾築弥生墳丘墓」、「造山古墳・千足古墳」、「作山古墳」、「こうもり塚古墳」を見学し、新緑と古代ロマンを満喫しました。

④ 工学部の教育活動支援として、工学部・経済学部共同企画の講義「実践コミュニケーション論」への講師派遣を行っています。

⑤ 毎月、原則として、第4木曜日に「支部親睦会」を開催しています。

詳細は「岡山大学工学部同窓会岡山支部」ホームページをご覧ください。

- ・HP <http://okayama-u.sakura.ne.jp/home/>
- ・パスワード okadaieng (会員専用)



③ 春の親睦会特別企画 古代吉備王国の古墳めぐり [2017.4.26]



## 工学部同窓会関西支部活動報告

関西支部 支部長 真鍋 健次 (電気6期)

岡山大学工学部同窓会関西支部は、平成26年10月の設立総会で発足してから、4年目を迎えました。初年度は3回、次年度は4回の懇親会を開催しました。それらの時期を経て、平成27年11月の忘年懇親会で支部長が決定しました。

そして昨年7月には、関西支部単独の総会を「エル・おおさか」(大阪府立労働センター)で開催し、支部役員を選任、活動報告を行い、工学部同窓会関西支部の体制を整えることができました。

総会では、工学部同窓会代表幹事の酒井名誉教授の出席を得、岡山大学の近況報告をしていただきました。また、工学部でシステム工学をご担当の宮崎名誉教授から特別講演がありました。

懇親会は、現在関西支部顧問をお願いしている元岡山大学工学部助教授の石原同志社大学名誉教授の乾杯により、参加者23名で和やかな雰囲気で開催しました。

平成29年2月18日に、京都市中京区の「がんこ 高瀬川 二条苑」で、関西支部の新春懇親会を行いました。今回も、石原顧問のご出席を得て、開会の挨拶と乾杯の音頭を取っていただきました。

今回は、地元企業に勤める若い卒業生も参加し、いつもとは違い少し華やかな雰囲気同窓会になりました。各参加者から、自己紹介、近況報告、若い参加者のためのアドバイスがあり、和やかな雰囲気同窓会になりました。同窓会の今後の方針等について確認をして、支部長からの挨拶でお開きにしました。

平成29年度の総会は、次のとおり予定しています。(関係者には詳細を後報)

- ・日時 平成29年10月7日(土) 12時～
- ・場所 がんこ池田石橋苑 池田市石橋3丁目3番18 電話：072-760-3888
- ・会費 5,000円(予定)

岡山大学工学部同窓会関西支部同窓会もリピート参加の会員が増え、会員間の親睦も深まっています。会員の皆様方の積極的なご参加をお待ちしています。会場の「がんこお屋敷シリーズ」の会場見学を兼ねて足をお運びください。詳細は世話役(大森勝(電気2期):momoritakatsuki0822@gmail.com)に問い合わせをお願いします。



平成 28 年 7 月 2 日 総会参加者



平成 29 年 2 月の新春懇親会参加者

## 工学部同窓会関東支部活動報告

関東支部 支部長 笹川廣太郎

卒業生の皆様お元気でご活躍されている事とお察しします。岡山大学・工学部同窓会・関東支部の幹事（支部長）を拝命しております笹川廣太郎（生産機械工学科 昭和50年3月卒業）でございます。昨年の5月から前任者の先輩諸兄（昭和39年工業化学科卒 坂東靖夫様、昭和40年工業化学科卒 藤澤芳朗様、昭和42年電気工学科卒 原田正憲、他）から引き継ぎました。



主な活動内容は、全学同窓会組織である Alumni理事会への出席、さらに関東での全学同窓会開催における工学部幹事、その他交流会の企画～実施を通じて卒業生の世代を跨った交流の活性化を図ることです。

ご存知の通り、岡山大学は明治～大正～昭和にかけて医学校、師範学校、第六高等学校などを母体として昭和24年に新制大学として統合され誕生し現在に至る長い歴史がございます。

特に1960年代以降、工学部は高度成長に向かい瀬戸内海工業地帯・水島コンビナートなど、時代がエンジニアを必要とする背景にあわせて多くの学科が設立されました。詳細は岡山大学のホームページをアクセスされたい。しかしながら国立大学法人法が2003年（平成15年）に制定され、14年を経て岡山大学においても法人運営がなされているのは卒業生の皆様もご存知と思います。文部科学省の厳しい予算縮減策により、毎年数億円の予算が減額されており、たいへん厳しい大学運営を余儀なくされております。昨今の日本の人口動態は少子高齢化が急速に進み、国立大学といえども将来、統廃合の波に生き残らねばならず、その中で岡山大学は、世界に存在をアピールすることで生き残りをかける戦略です。すでに各学部学科においてもグローバル化が進み学生も国際色豊かな人材が多数在籍しています。これからは学問と実学、実業（企業）の連携による社会への貢献度が評価され、その活動結果次第で資金が集まるプラスの流れ作りが不可欠です。そのために、学部・学科を跨り、世代を跨る交流（個々の専門分野が人材・人脈ネットワークで連携しイノベーションを起こす）が重要な時代になっています。

さて、昨年度は全学同窓会（Alumni）関東地区は7月に開催しました。出席者は大学関係者を含め全体で114名、そのうち工学部出身者は21名でした。関東地区（東京・神奈川・埼玉・千葉・茨城）在住の工学部卒業生は約280名です。本年も7月29日（土）に予定されており、これから関東在住の同窓生に開催案内を送付する予定です。各位の参加を期待します。

また、そのほかに10月と本年2月、4月の3回、懇親会を開きました。40代、50代、60代、70代と世代も様々で、多様な業界での情報交換に役立っています。

これらと平行して小長 Alumni会長ほかの関東在住の卒業生（幹事は法学部卒業生で弁護士の長谷川伸城氏）による『岡山大学懇話会』開催にも学部を跨って多くの卒業生が情報交換の場として参加され、工学部出身者も毎回、5～6回が参加されています。岡山大学東京オフィス（JR東京駅八重洲南口より徒歩5分）の宮道准教授も積極的に同窓会活動をご支援くださっています。

今後は、個人情報漏洩などの事故を起こさぬよう細心の注意をはらいながら、SNS等の最新IT環境を有効に活用し20代、30代、40代、50代の工学部卒業生・現役社会人世代にとって『元気が出る・人脈を拡大できる・世の中の動きに追随できる・楽しく息抜きできる』ソサイアティの構築を目指し、『グローバル化に向けて発展する、母校である岡山大学の応援団』として活躍できればと思います。

## 宇根山健治先生を偲ぶ

酒井 貴志<sup>a</sup>

片桐 利真<sup>b</sup>

網井 秀樹<sup>c</sup>

岡山大学名誉教授の宇根山健治先生が平成29年5月2日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りします。

先生は平成19年のご退官まで、37年間の長きにわたり本学に勤務され、11名の博士、58名の修士を育てられ、学科長や大学の評議員の他に、岡山大学ベンチャービジネスラボラトリー (VBL) の設立にも御尽力され、平成9年度より2年間VBL長をお勤めになられました。ご退官後も、5年間にわたり岡山大学異分野融合先端研究コアのコーディネーターとして、若いテニユア・トラック教員の研究を支援し、若手研究者の育成にご尽力されました。

先生は有機フッ素化学分野のご研究で世界的に著名で、平成9年に有機合成化学協会賞、平成19年にはアメリカ化学会賞（フッ素化学分野）を受賞されました。右の写真は、アメリカ化学会受賞式の際に、当時のACS会長 Catherine T. Hunt 教授とご一緒のもの、上段右は先生の親友でもあるフッ素化学の世界第一人者南カリフォルニア大学 Prakash 先生と受賞記念シンポジウムの際に撮影したものです。

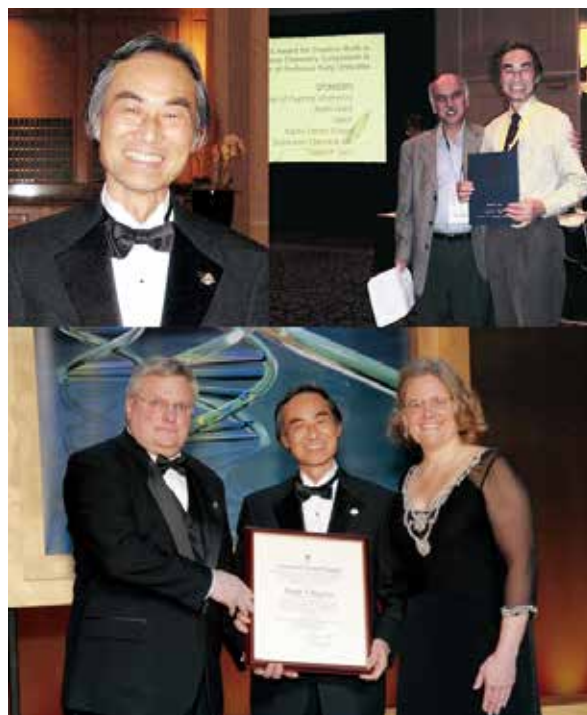
先生は研究を通して「人を育てる」ことをとても大事にされていました。研究テーマのディスカッションの時には「それはワシでもできるオジンのテーマやで、全然オモロくない。もっと考えて」と叱咤激励され、そして、学生がよい仕事をしたら、笑顔で盛大にほめてくださいました。先生にほめていただいた時は本当に嬉しく、先生の笑顔は私たちにとり今でも「頑張る」支えになっています。

宇根山先生は、いつも「学生さんを男前(女前?)

に育てて世に出すのが教員の仕事だよ」と言っておられ、このお言葉は私たちの座右の銘になっています。

先生のご逝去は、国内外の多くの研究者にも惜しまれています。Prakash 先生から「Professor Uneyama was a giant of an organofluorine chemist, who will be deeply missed by the chemistry community」、上海有機化学研究所の Jin Bo Hu 教授からは「Certainly an era in fluorine chemistry has passed with Uneyama-sensei's passing」という弔電をいただきました。

学会やセミナーなどで先生の笑顔をもう見ることができないのは本当に残念でなりません。



a: 岡山大学名誉教授 (元宇根山研助教授)

b: 東京工科大学教授 (元宇根山研准教授)

c: 群馬大学教授 (元宇根山研助教)

### 謝辞

本稿を作成するにあたり資料の提供と執筆に協力いただきました鳥取大学伊藤敏幸教授 (元教育学部、自然科学研究科宇根山研 (物質分子科学講座) 助教授) に感謝いたします。



## 限りある時間を いかに生きたか？ (回想)

太田 傀一

私は1944年生まれ、73才。太田傀一。現在、本業は司法書士・土地家屋調査士・行政書士です。工学部卒業生では数人しかいない職業だと思います。

1. 司法書士は、遺言・相続・所有権移転・抵当権設定など法務局の権利関係。
2. 土地家屋調査士は、測量・境界設定・土地分筆・地目変更、建物表示登記など法務局の表示登記関係。
3. 行政書士は、県・市・町村に提出する書類の代理業務を主としています。殆どの人に関係あるのは相続登記かな？

男性の平均寿命は約80才。私は残り10年を割りました。小学生～中1、田舎の山野を駆け巡り、近所の柿・イチジクを盗み、川魚を捕った。中2～高2、10月、軟式テニスに夢中。津山工業高校機械科に入学。高2でインターハイ出場。県新人戦準優勝。ここまで勉強とは無縁の生活でした。高2、10月、大学進学を決意。猛勉強開始。一浪後、岡山大学工学部工業化学科に合格。4期生となる。学生時代、異性を意識しての初恋。そして失恋。その後、卒業→一般企業へ就職→25才見合い結婚→27才で脱サラ。29才～32才、土地家屋調査士・行政書士・司法書士に合格、開業。あこがれの硬式テニスを始めた。46才、全日本ベテランテニス大会に初出場。54才、岡山代表で神奈川国体に出場。55才、全日本ベテランテニス大会男子ダブルス優勝。現在も全日本メンバーです。男子平均寿命の80才まで仕事、テニスが続けられた幸せ。

私は右翼でも左翼でもありませんが、今の日本ほどいい国はないと思っています。人権・言論・治安・環境・自然など、どれをとっても世界中で最も平和な国であり、よい時代の日本に生まれて来られて幸せだったと感謝しています。自分で目

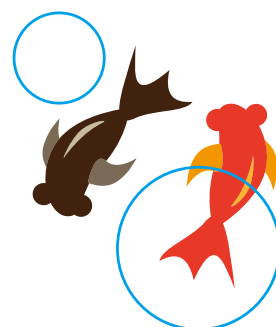
標を作り、それに向かってチャレンジし精一杯生きて来られた事にも感謝しています。



## 電気通信系学科同窓会 開催のご案内

旧電気工学科、旧電気電子工学科、旧通信ネットワーク工学科、電気通信系学科の同窓会イベントを、岡山大学ホームカミングデイの前日に開催いたします。系学科として初めての同窓会開催となります。詳細は下記ホームページにてご案内致します。同窓生の皆さまのご参加をお待ちしております。

- ・日時 2017年10月20日(金)
- ・URL <http://www.eng.okayama-u.ac.jp/alumni/ec2017.html>



## 平成28年 生産機械工学科539会開催

平川 靖憲

(生産機械工学科 S43年卒)

生産機械工学科第一期入学生の会は学籍番号の共通部分をとって539会と称し、2年毎に岡山に集結しています。539会名簿には34名が掲載されていますが、今年亡くなった一人を含めて、5名が物故者となっています(合掌)。

今年の会場は、前回評判のよかった、岡山駅運動公園口(西口)すぐの「まつのき亭」としました。残念ながら、直前に不都合となった者もあって、今回は17名が集まりました。



一次会では順に近況報告をし、その後、席を自由に移りながら、入学時や学生時代の思い出話、卒業して企業に入ったときのこと、仕事で経験したこと、健康のこと、家族のことなどをワイワイと語りあい、2時間半で一旦お開き。そのあと、一部の人を除き、まだ話し足りない、同じまつのき亭のカラオケルームへ移動。自慢ののどを披露する人の声をバックに、懇親を続け、最後に全員で「おお岡大」を合唱し、2年後の再会を約して散会しました。



## [新任教員の紹介]

- 28年9月1日付け就任
- ・ 大学院自然科学研究科 (工) (化学生命系学科)  
神戸大学大学院工学研究科 特命助教  
助教 三野 泰志
- 28年10月1日付け就任
- ・ 大学院自然科学研究科 (工) (機械システム系学科)  
レノボジャパン株式会社  
助教 土井 俊央
  - ・ 大学院自然科学研究科 (工) (機械システム系学科)  
東京理科大学工学部 嘱託助教  
助教 岡野 訓尚
  - ・ 大学院自然科学研究科 (工) (化学生命系学科)  
九州大学大学院工学研究院 助教  
准教授 中曾 浩一
- 29年4月1日付け就任
- ・ 大学院自然科学研究科 (工) (電気通信系学科)  
奈良先端科学技術大学院大学 助教  
助教 侯 亜飛
  - ・ 大学院自然科学研究科 (工) (機械システム系学科)  
兵庫県立大学 助教  
講師 児玉 紘幸
  - ・ 大学院自然科学研究科 (工) (情報系学科)  
岡山大学 理事  
教授 谷口 秀夫

## [昇任教員の紹介]

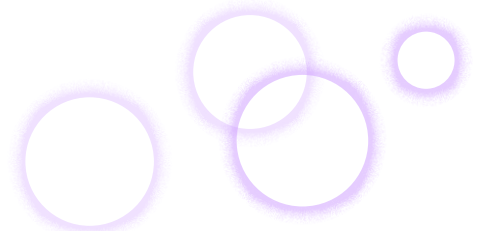
- 29年4月1日付け昇任
- ・ 大学院自然科学研究科 (工) (機械システム系学科)  
准教授 松野 隆幸
  - ・ 大学院自然科学研究科 (工) (電気通信系学科)  
教授 野上 保之
  - ・ 大学院自然科学研究科 (工) (機械システム系学科)  
教授 神田 岳文

## [定年、転出、退職教職員の紹介]

- 28年5月31日付け退職
- ・ 大学院自然科学研究科 (工) (機械システム系学科)  
教授 山崎 謙治
- 29年3月31日付け退職
- ・ 大学院自然科学研究科 (工) (電気通信系学科)  
教授 杉山 裕二
  - ・ 大学院自然科学研究科 (工) (機械システム系学科)  
兵庫県立大学工学部 教授  
准教授 木之下 博
  - ・ 大学院自然科学研究科 (工) (機械システム系学科)  
岡山県立大学情報工学部 教授  
准教授 春木 直人
  - ・ 大学院自然科学研究科 (工) (化学生命系学科)  
特許庁任期付職員 (特許審査官補)  
助教 工藤 孝幸

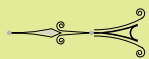
## [叙勲者紹介]

- 28年秋の叙勲
- 瑞宝中綬章
  - ・ 小西 忠孝 岡山大学 名誉教授
- 29年5月2日の叙勲
- 正四位、瑞宝中綬章
  - ・ 宇根山 健治 岡山大学 名誉教授

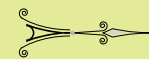








## 同窓会会計報告 (平成28年度)



### 一般会計

### 収支計算書

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
<b>I. 収入の部</b>				
1. 入会金収入 会費収入	3,669,000	3,999,660	△330,660	400名 { @10,000×397名 @9,870×2名 @9,920×1名
2. 寄附金収入 寄附金収入	758,000	918,960	△160,960	451人、967.5口
3. 雑収入 受取利息	100,000	110,397	△10,397	普通、郵貯、有価証券
雑収入	0	0	0	
当期収入合計(A)	4,527,000	5,029,017	△502,017	
前期繰越収支差額	7,273,749	7,273,749	0	
収入合計(B)	11,800,749	12,302,766	△502,017	
<b>II. 支出の部</b>				
1. 事業費	3,308,000	3,127,012	180,988	
通信運搬費	1,026,000	985,220	40,780	会報郵送料外
会議費	200,000	214,287	△14,287	学科連絡委員会外
旅費交通費	100,000	90,960	9,040	関東支部同窓会
印刷製本費	1,452,000	1,392,351	59,649	会報印刷代外
消耗品費	10,000	9,971	29	名札外
助成金支出	450,000	373,683	76,317	関東支部同窓会外
同窓会活性化経費	60,000	60,000	0	ホームページ作業料
雑費	10,000	540	9,460	振込手数料
2. 学科事業費	2,298,000	2,211,000	87,000	
学科配分会費	2,298,000	2,211,000	87,000	737名 @3,000-
3. 管理費	1,611,000	1,547,115	63,885	
業務委託費	400,000	400,000	0	(公財)岡山工学振興会
〃	1,146,000	1,082,315	63,685	小野高速印刷：住所調査
〃	65,000	64,800	200	小野高速印刷：データメンテナンス
当期支出合計(C)	7,217,000	6,885,127	331,873	
当期収支差額(A)-(C)	△2,690,000	△1,856,110	△833,890	
次期繰越収支差額(B)-(C)	4,583,749	5,417,639	△833,890	

### 基金特別会計

### 収支計算書

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	決 算 額	備 考
<b>I. 収入の部</b>		
1. 雑収入 受取利息	138,105	有価証券
当期収入合計(A)	138,105	
前期繰越収支差額	3,009,829	
収入合計(B)	3,147,934	
当期支出合計(C)	0	
当期収支差額(A)-(C)	138,105	
次期繰越収支差額(B)-(C)	3,147,934	

工学部同窓会ホームページ <http://www.eng.okayama-u.ac.jp/alumni/index.html>

工学部同窓会ではホームページを通じてみなさまにいろいろな情報をおとどけします。ホームページを充実させるためにみなさまからの情報を募集しています。是非ご協力下さい。

例えばこんな情報を募集しています。

- ・同期会、研究室同窓会、など行事のお知らせ
- ・みなさまの近況
- ・同窓生の方がお持ちのホームページ（リンクさせていただきます）
- ・同窓生による寄稿（エッセイ、旅行記、写真などなんでも構いません）

※なお、情報を提供下さった方には、右写真にあります、「岡山大学グッズ」の中からいずれかを進呈します。

ホームページへのご寄稿、ご要望などはofst@cc.okayama-u.ac.jp宛にお願いします。



## 同窓会事務局より

### 同窓会報への寄稿などのお願い

会員の方々の寄稿、意見等をお寄せくださいますようお願いいたします。  
 ●職場報告：600～1200字程度 ●会員グループ報告：600～1200字程度 ●最近の研究から：1200字まで（図・表を含む）  
 ●会員短信：800字以内（近況、随想、会員や恩師への祝辞、思い出等） ●通信：400字以内

いずれも写真（顔写真あるいは関連写真）を合わせてご提供ください。

なお、いずれの寄稿につきましても、編集幹事一同の判断により、紙面の都合上内容を損なわない範囲で一部を変更、削除させていただくこと、また極端に内容が不都合であるものについては掲載をしないこと、などをさせていただくことがありますので御了承をお願いいたします。

### 支部活動の助成について

次のとおり支部活動を助成します。幹事、あるいは岡山工学振興会内・岡山大学工学部同窓会(086-255-8311)へ御連絡ください。

- (1) 100人程度を超えるような支部が総会、懇親会等の活動を行う場合に助成する。
- (2) 通信連絡に必要な経費として、小野高速印刷(株)を利用した場合等の実費額と180円/人・回のいずれか安価な額を助成する。
- (3) 懇親会等の会合に要する経費として50,000円/会を助成する。

### 寄附のお願い

工学部同窓会は、皆様のお力添えに支えられ今日まで活動を行ってまいりました。今後も活発な同窓会活動を継続するためには財務基盤の強化が急務であるため、昨年度に引き続き会員の皆様に寄附のお願いをすることになりました。寄附は一口1,000円からとさせていただきますが、ご都合に応じ何口でも結構でございます。なお、寄附をお寄せ頂いた会員のお名前、卒業学科（専攻）、卒業年度を会報に掲載させていただきます。

会員の皆様におかれましては、寄附の趣旨にご理解を頂き、引き続きご協力を賜りたくお願い申し上げます。

ご寄附は下記宛でお願いいたします

郵便振替01270-4-5233 岡山大学工学部同窓会

\*通信欄にはご住所、お名前、電話番号、卒業学科（専攻）、卒業年度、会報への氏名掲載の可否をご記入下さい。

## 編 集 後 記

岡山大学工学部同窓会報第29号をお届けいたします。OBの方の職場紹介、ご退職される先生のご挨拶、学科近況、活発な支部の活動紹介など、盛りだくさんの内容となりました。ご多忙の中、ご寄稿くださいました卒業生の皆様、本学の関係各位に厚く御礼申し上げます。

6月に入り、岡山大学は2学期を迎えています。昨年度から始まった4学期制は2年目を迎え、戸惑いの大きかった昨年と比べると教員・学生とも馴れてきたようです。この2学期は、時間割のうえでは学部3年生の必修科目が無いというユニークな学期です。学部3年生は、その気になれば6月から9月末まで4か月の間、留学など普段はできない長期的な学習に専念することができます。効果のほどはまだわかりませんが、私が学生として講義を受けていたころと比べると、講義時間が120分（60分×2回、間に10分休憩）となったことと併せて、この十数年でずいぶん学生を取り巻く環境も変わったものだと実感しています。

一方で変わらないのは堅調な就職の状況でしょう。特に昨今では新卒学生の減少により就職活動は学生にとって有利な状況になっていると報道されています。岡山大学工学部の就職は、こういった世の中の動きにそれほど左右されることなく順調だといわれてきましたが、これも卒業生の皆様のご活躍に裏打ちされた企業からの高い求人意欲によることと思います。同窓会という、卒業後に世話になるものだというイメージがありますが、今後も卒業生の皆様、在学中の学生諸君、いずれにも多い活動を続けていきたいと考えております。引き続き同窓会へのご支援、ご理解を賜りますようお願い申し上げるとともに、本年10月21日に開催予定のホームカミングデーの折には、工学部へも足をお運びいただければ幸いです。

学内代表幹事 大西孝（機械システム系学科）